

租税教育実践レポート

わたしたちの暮らしと税

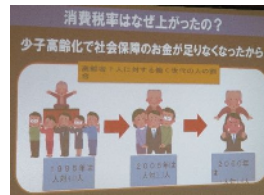
登米市立米川小学校教諭 6学年 三浦 咲稀
 実施年月日：令和3年5月26日 11名

1 実践計画・指導のねらい

学習前の実態調査からは、「税金」という言葉は全員が知っており、税金と言ったら「消費税」を想像する児童がほとんどであった。その一方で、消費税以外の税金について知っている児童は3名という結果であり、身近な消費税以外の税金についての理解は不十分であることが分かった。また税金を「だれが、どこに、何のために」納めているのかについての理解も不十分であった。そこで本単元では、児童に税金の目的や必要性について理解させると共に、税金の使い道を決めるのは選挙で選ばれた国会議員であることを伝え、選挙に参加することの大切さを理解させる。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通じた全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○), 子供たちの反応 (●), 使用教材等 (□)	【指導のポイント】
1	・国会の働きについて調べる。	○ <u>国会の働きについて調べて、まとめましょう。</u> ● 国会には衆議院と参議院がある。 ● 税金の使い道も話し合われている。 ● 多数決で決めている。 □ 新しい社会6 政治・国際編 P24, 25	【指導のポイント】<1時間目> 4月に学習した「国民主権」について触れ、国会議員と国民主権、選挙の関連について取り上げた。
2	・選挙のしくみや税金の働きについて知る。 ・消費税の増税について二人の政治家の意見を聞いて考えたことについて意見交流をする。	○ <u>税金について知っていることはありますか。</u> ● 消費税がある。 ● 教科書はただかと思っていた。 ● 税金の使い道が分かったぞ。 ○ <u>あなたならどの政党を選ぶか、考えて話し合ってみよう。</u> ● お年寄りのことを考えて増税するのはしかたないと思う。 ● 買い物するときに値段が上がるのは嫌だな。 □ 新しい社会6 政治・国際編 P26, 27	【指導のポイント】<2時間目> 自分だったら、消費税を「増税する政党」と「増税しない政党」のどちらに投票するかを、ディベート形式で話し合わせた。
3	・税務署よりゲストティーチャーをお招きして租税教室を実施する。	○ <u>税金は誰が納めていて、どんな種類があるのだろうか。</u> ● 国民全員が納めている。 ● 消費税しか分からないな・・・。 ● 働いている人が払うものもあったはず。 ○ <u>税金がなくなったらどうなるか考えよう。</u> ● 道路を歩いたりするだけでもお金がかかるのか。 ● 交番に相談するのにもお金がかかるなんて大変だ。 □ DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」	【指導のポイント】<3時間目> 税務署よりゲストティーチャーをお招きし、税金の仕組みや種類、使い道など税の基礎知識を教えてくださいました。またアニメ「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を視聴したことで、税金の必要性に気付くことができた。
4	・「令和3年度税に関する絵はがきコンクール」に応募する。	○ <u>税に関する絵はがきを描こう。</u> ● 税金で作られた施設や物を描いてみよう。 ● どんな言葉を入れようかな。	【指導のポイント】<4時間目> 前時までの学習を振り返らせ、税金に対する思いをキャッチコピーにして、はがきの中に表すようにした。



3 実践の成果 (◎) と課題 (◆)

- ◎ 税務署のゲストティーチャーの方の資料や説明がとても詳しく、分かりやすかったため、身近な生活と税金の関わりを理解することができた。
- ◎ 国民から集められた税金がどのようにして国民の生活に生かされているのかを知ることで、選挙と税金の繋がりを理解することができた。
- ◎ 租税教室（5月）と絵はがきコンクール（7月）、教科書での学習の時期が同じであったため、租税教室と教科書での学習内容を結び付けて、絵はがきコンクールに応募することができた。
- ◎ 振り返りの感想の中には「税金が使われた教科書を大切に使おうと思う」「税金は必要ないと思っていたが、今回の学習を通して税金の大切さが分かった」といった内容が見られ、税金の必要性を理解することができた。
- ◆ 消費税以外の税金について、それぞれの種類を深く学習する場面を設けることができなかった。家の人が納めている税金についてのインタビューをする活動などを行えばよかった。